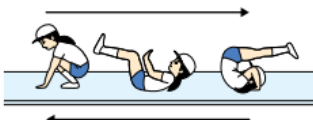


時	1	2	3	4	5	6	7	8
目標	【知識及び技能】 マット運動では、その行い方を知るとともに、基本的な技をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 マットを使った基本的な行い方を工夫するとともに、考えたことを友だちに伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 マットを使った運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。							
コア技術	① おへそを見るようにした状態（アゴロック）で回っている。 ② 回転に勢いをつけて腰を上げている。							
めあて	学習の進め方を知り，学習のめあてを持つ。	おおきな「ゆりかご」をするにはどうしたらいいか考えてやってみよう。	友達の様子を見て気付いたことを伝え，自分の課題を見つけよう。	静かな後転をするためにはどうすればいいかを考えながらやってみよう。	美しい「後転」のポイントを理解して，挑戦しよう。	自分の課題に合った場を選んで取り組み，友達がうまくなる工夫を伝えよう。	自分の後転がレベルアップするにはどうすればいいか考えよう。	学習の成果の発表会をして友達のいいところを見付け，伝えよう。
指導内容	1. 準備運動（加茂小体操） 2. 単元目標の提示 【身に付けさせたい力】 ・きれいに，正確に，難しい技にもチャレンジしようとする意欲 ・後転の習得 ・安全についての意識の向上 3. 後転のポイントの確認 ・あごを引いて，背を丸くする。 ・手のひらを上に向け，耳の横にそろえる。 ・ひざと胸をつける。 ・手のひらでマットを押し，体を押し上げる。 ・着地は手の近くになるようにする。 4. 目標設定 個人の目標を設定する。	1. 準備運動（加茂小体操） 2. 本時のめあての提示 3. スモールステップ ゆりかご ① 膝を曲げ，へそを見て前後に転がるようにする。 ② 手を上に伸ばした状態で構え，しゃがみ立ちの形から後ろに転がり，戻ってくる反動で元のしゃがみ立ちに戻る。 ③ ペアの相手に前に立ってもらい，タッチしたところから後ろに転がり反動を使って元に戻りタッチをする。 補助 ・技を行う児童と反対側に立ち，「まえ～，うしろ～」のリズムに合わせて，ゆりかごを手伝う。 声かけ ・ゆりかごに合わせて「まえ～，うしろ～」と口伴奏をする。	1. 準備運動（加茂小体操） 2. 本時のめあての提示 3. スモールステップ ゆりかご ① 膝を曲げ，へそを見て前後に転がるようにする。 ② 手を上に伸ばした状態で構え，しゃがみ立ちの形から後ろに転がり，戻ってくる反動で元のしゃがみ立ちに戻る。 ③ ペアの相手に前に立ってもらい，タッチしたところから後ろに転がり反動を使って元に戻りタッチをする。	1. 準備運動（加茂小体操） 2. 本時のめあての提示 3. スモールステップ 大きなゆりかご ① 膝を曲げ，へそを見て前後に転がるようにする。 ② 手を上に伸ばした状態で構え，しゃがみ立ちの形から後ろに転がり，戻ってくる反動で元のしゃがみ立ちに戻る。 ③ ペアの友達の1，2，3のタイミングで後転する。 	1. 準備運動（加茂小体操） 2. 本時のめあての提示 3. スモールステップ ① 傾斜を利用して回転に勢いをつけて転がりやすくした設定で後転を行う。 ② 腰を上げたり，体を支えたり，回転の勢いをつけたりする動きが身に付くように行う。 かかわりあい 補助 ・技を行う児童の両側にいて腰を上げたり，体を支えたり，回転の勢いをつけたりするを手伝う。 声かけ ・体が丸まったまま回転できるように「ヘソ見て～」と声をかける。	1. 準備運動（加茂小体操） 2. 本時のめあての提示 3. スモールステップ ① 傾斜を利用して回転に勢いをつけて転がりやすくした設定で後転を行う。 ② 腰を上げたり，体を支えたり，回転の勢いをつけたりする動きが身に付くように行う。	1. 準備運動（加茂小体操） 2. 本時のめあての提示 3. スモールステップ ① 傾斜を利用して回転に勢いをつけて転がりやすくした設定で後転を行う。 ② 腰を上げたり，体を支えたり，回転の勢いをつけたりする動きが身に付くように行う。 	1. 準備運動（加茂小体操） 後転のポイントの確認 2. 本時のめあての提示 発表方法の確認 3. レベルに合わせた練習 4. 発表会 ・VTRの確認 ・技の出来映えについて助言し合う。
		スモールステップ「ゆりかご」 	<u>つまずき</u> 後転が苦手な児童には，ゆりかごなどの体を揺らす運動遊びや，かえるの逆立ちなどの体を支える運動遊びに取り組んだりして，腰を上げたり，体を支えたり，回転の勢いをつけたりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。	<u>つまずき</u> 後転が苦手な児童には傾斜を利用して回転に勢いをつけて転がりやすくして，腰を上げたり，体を支えたり，回転の勢いをつけたりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。 				
知		② 観察・ICT					② 観察・ICT	① 観察
思			① 観察			① 観察		② 観察
態	④ 観察	③ 観察		① 観察・カード	② 観察・カード			

単元の評価規準

【後転（マットを使った運動遊び）】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① マット運動の行い方について，言ったり書いたりしている。 ② しゃがんだ姿勢から体を丸めながら尻－背中－後頭部－足裏の順にマットに接して腰を上げながら後方に回転し，両手で押して立ち上がることができる。	① 上手くできたところやできなかったところを，学習カードや掲示物などの図に目印や色をつけたり，シールを貼ったりして，自己の能力に適した課題を見付けている。 ② 友達のよい動きを見付けたり，自分で考えたりしたことを友達に伝えたり書いたりしている。	① マット運動の基本的な技である後転に進んで取り組もうとしている。 ② 順番やきまりを守り誰とでも仲よくマット運動をしようとしている。 ③ 場の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ④ 場の安全に気を付けている。

【単元の評価規準を基にした「十分満足できる姿」】

（１）知識・技能

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 後転の行い方について，言ったり実際に動いたりしている。	・ 後転の留意点を友達や教師に詳しく伝えたり，カードに書いたりすることができる。
② しゃがんだ姿勢から体を丸めながら尻－背中－後頭部－足裏の順にマットに接して腰を上げながら後方に回転し，両手で押して立ち上がることができる。	・ 滑らかな後転を連続して行うことができる。（何度も繰り返しできる）

（２）思考・判断・表現

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 上手くできたところやできなかったところを，学習カードや掲示物などの図に目印や色をつけたり，シールを貼ったりして，自己の能力に適した課題を見付けている。	・ 上手くできたところやできなかったところを，学習カードや掲示物などの図に目印や色をつけたり，シールを貼ったりして，よりよくする行い方を見付けている。
② 友達のよい動きを見付けたり，自分で考えたりしたことを友達に伝えたり，カードに書いたりしている。	・ 友達のよい動きの特徴を，擬態語や身振りなど多様な表現を用いて具体的に友達に伝えたり，カードに書いたりしている。

（３）主体的に学習に取り組む態度

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① マット運動の基本的な技である後転に進んで取り組もうとしている。	・ 後転から開脚後転への行い方を試している。
② 順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動遊びをしようとしている。	・ 自分が楽しむだけでなく，グループの友達を励ましたり，応援したりしている。
③ 場の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている	・ 場の準備や片付けを率先して行っている。
④ 場の安全に気を付けている。	・ 自分のことだけでなく，周囲の安全にも気を配っている。

※ 学習指導要領解説の技の例示とは異なった学年で授業を計画しています。その理由は以下の２点です。

- ① 器械運動の技を系統的・段階的に習得するため。
- ② 器械運動の授業を学年間で偏りなく行うため。